

【一宮町社会福祉協議会長賞】 シェルパ・ギャルゼン

天国にいるお父さんへ

シェルパ・ギャルゼン

お久しぶりです。お元気ですか。

珍しくお父さんに手紙を書いてみようと思います。この世界で会えなくても

毎日お父さんのことを思い出します。

お父さんにはたくさん心配もかけたし、ケンカもしました。

「なんで分かってくれないの?」と思ったこともありましたが、お父さんが僕の事を
思っていてくれたことだと、今分かるようになりました。

子供の頃一緒にサッカーをしたり、遊んだり、料理を作ってくれたりしたこと、

本当に懐かしい。お父さんにもう会えないことは分かっているけど、会いたいな。

今僕に誇れるものは、まだ何もないけれど、これだけは言いたい。

あなたの息子でいられた事だけが、今も僕のほこりです。

最後まで僕たちに涙を見せることのなかったお父さん。

でも、僕たちを守るため一体何度、涙をこらえたことでしょう、お父さん。

お母さんのことは心配しないでね。僕と兄弟がちゃんと支えています。

お父さん、知ってる?今僕は独立して日本に留学しているんだよ。

毎日勉強やアルバイトで忙しいけれど、楽しいです。子供の頃からの夢だった日本への
留学が叶って、今とても幸せな気持ちでいっぱいです。

きっと僕のことをどこかで見ていてくれるよね。

だいぶ後になるとは思うけれど、またいつか会おうね。

僕の尊敬するお父さん。大好きです。

(千葉県 / 20歳 / 男性 / 学生)

**お父さんが生きていた時、何もしてあげることができなかったので、
感謝の気持ちで書きました。**